



中村小だより



練馬区立中村小学校
(3990) 4241
平成30年度 12月号

2学期の締めくくりを

副校長 幸田 達也

< 中村小学校 学校教育目標 >

- よく考える子ども
- さいごまでやり抜く子ども
- 明るく元気な子ども
- ◎ なかよく助け合う子ども

朝、午前8時を過ぎるとそれまでの静けさが一変し、子供たちの元気な声で学校中が埋め尽くされます。あちらこちら交わされる「おはようございます。」の挨拶の声に励まされて一日がスタートし、私たち教職員も「今日もがんばろう」という前向きな気持ちになります。

「挨拶（あいさつ）」という漢字の意味を調べてみると、「挨」には「押す」「背をたたく」「開く」という意味があり、「拶」には「迫る」「押しつける」等の意味があるようです。

つまり、あいさつは「そばに近づき、心を開く」ととらえることもできます。朝、あいさつを交わすことでお互いが元気になり、そこから会話がはずむかもしれません。元気なあいさつは、「私はあなたの存在を認めましたよ。」という心の言葉でもあります。コミュニケーションは、相手の存在価値を認めることから始まりますが、「人を認め、仲間と認めて、人間関係ができる。」あいさつを通して子供たちは、より信頼が深まっています。

学校でも継続して指導してまいります。御家庭でもお子さんにお話くださるようお願い申し上げます。

さて、2学期も終わりに近づきました。今学期も多くの行事で活躍した子供たちの姿や日々教室で見せる真剣な学びの顔など、心に残るシーンが数多くありました。先月の展覧会では、「ときめく心 素材へのアドベンチャー」というテーマで、子供たち一人一人が自分のよさに触れ、友達のすばらしさ、素材のすばらしさを感じ表現された作品がずらりと体育館に並びました。各学年工夫された題材、そして一つ一つ丁寧に作り上げた、思いのこもった作品ばかりでした。

日々の学習場面でも、できるまで縄跳びや鉄棒などの技の習得に取り組んでいる姿、進んで自分の考えを発表している姿、黙々と課題に取り組んでいる姿、友達と笑顔で話し合っている姿などが数多く見られました。

人がよりよく生きるためには、本校の子供たちのような素直さや優しさ、そして新しいものにチャレンジしていくことが大切だと思います。学校生活の中では、子供たち同士がふれあい、学び合い、日々成長している様子がたくさん見られました。うれしいことばかりではなく、答えを間違えて恥ずかしく思ったり、友達とけんかをして泣いたりすることも成長には大切な経験です。

2学期も残り17日。学習も行事も一つひとつに全力投球で進めてきましたが、特に12月は新年、そして来年度へ向けて、各学年学習や生活についての振り返りも丁寧に行いながら進めていきたいと思っております。

また、様々な場面で保護者や地域の皆様から学校に協力していただき、子供たちとふれあっていたいただき、また子供たちの成長を助けていただいたことに感謝申し上げます。こうした様々な機会でのお子さんの姿を12月4日の保護者会でもお伝えしたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

< 12月の生活目標 >

「みのまわりを きちんとしよう」

平成30年も残り1ヶ月となります。生活の中で、この1年を振り返り、新たな年を迎える大切な1か月です。学習のまとめと同様に、生活のまとめも大切です。計画的に身の回りの掃除や整頓をし、心もすっきりとして新年を迎えられるよう、指導していききたいと思います。

12月の行事予定

1	土	ふるさと中村音楽祭(会場：中村中学校)
2	日	練馬区小学校音楽祭
3	月	全校朝会 連合音楽鑑賞教室(6年生)
4	火	安全指導日 土曜時程5時間授業 保護者会(1・2・3年 14:30~) (4・5・6年 15:15~)
5	水	クラブ活動
6	木	校内研究授業(1-3) ※1年3組以外は土曜時程4時間授業
7	金	音楽朝会
8	土	土曜授業日(水①②木④) 委員会活動 PTAクリスマスバザー
9	日	
10	月	全校朝会
11	火	社会科見学(4年)
12	水	
13	木	児童集会
14	金	社会科見学(6年)
15	土	
16	日	
17	月	全校朝会
18	火	
19	水	避難訓練(3校時地震火災)
20	木	図書ボランティア読み聞かせ
21	金	給食終
22	土	奄美・名瀬小との交流会(5,6年生代表児童 ヘルデ軽井沢~24日)
23	日	天皇誕生日
24	月	
25	火	2学期終業式 4時間授業後下校
26	水	冬季休業日始
27	木	
28	金	
29	土	↑ 校庭開放停止期間(1月3日まで)
30	日	
31	月	

1年遠足~石神井公園に行ってきました!

10月16日、気持ち良く晴れ上がった秋空の下、石神井公園へ遠足に行ってきました。台風24号で倒れた木も撤去され、元通りになった石神井池と三宝寺池の周りを散策することができました。広場では、ドングリを拾ったり、ネーチャーゲームをしたり、自然と触れ合い、大いに盛り上がりました。体を動かした後、皆で食べるお弁当の味は最高だったようで、どの子ども笑顔にあふれていました。移動の電車の中でもマナーを守って静かに過ごし、成長を感じました。



展 覧 会

11月9、10日の2日間にわたる展覧会が好評のうちに終わりました。今回は、「ときめく心 素材へのアドベンチャー」をテーマとして作品づくりをしました。

体育館という広い会場、全児童の作品を一堂に会して展示することは多くありませんので、貴重な機会だったと思います。

お忙しい中、参観していただき、ご鑑賞後のアンケートにはたくさんの感想をお寄せいただきました。お礼を申し上げます。子供たちは、今後この経験を生かして、創造的で明るく頼もしい中村小の子として、活躍してくれると思っています。

図工専科 中村 慎一



~芝生だより~

今年の芝生はここ数年では一番良い状態で冬を迎えられそうです。業者の方による肥料まきの作業や、環境委員さんによる作業もあります。また、寒さ対策として養生シートの設置も行います。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

